

2016年4月に採取した試料について、放射性物質測定を行いました。
 (2015年からは弊社のクリーンルーム空調フィルタを4カ所測定し、最高値を示す1カ所分を報告しております。
 今回は1月に測定予定であった3カ所分がフィルタの納品遅延の為、4月にずれ込んでしまい、4月分は放射能測定計画の修正とともに3カ所のうち最高値を示しているフィルタについて結果をご報告いたします。)

結果：洗浄水については放射性物質の検出はありませんでした。
空調フィルタについてはセシウムが検出されましたが、下記の通り、製品への影響はないと認識しています。

放射能分析結果(2016年4月分)

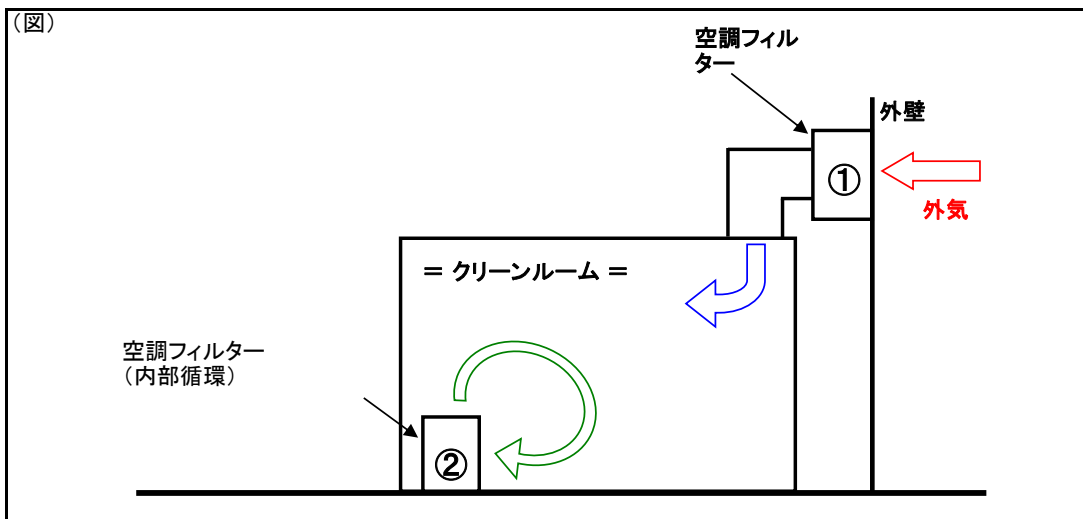
検体	測定項目			
	放射性ヨウ素	放射性セシウム		
	I-131	Cs-134	Cs-137	Cs-136
単位	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)
洗浄水	ND ^{*1}	ND ^{*1}	ND ^{*1}	ND ^{*1}
空調フィルタ(外気導入)	ND ^{*2} (検出下限: 23)	15	79	ND ^{*2} (検出下限: 19)

- *1) 自治体HPより(期間: 2016/3/30~2016/4/27)
検出限度: 概ね0.5Bq/kg
- *2) 検出せず

今回は11回目の測定となります。前回同様、空調フィルタ(外気導入)(下図①)に放射能が検出されましたが、数値は過去の測定結果と比較し2016年は最も低い値でした。(表1『放射性セシウム検出推移』参照)。
 放射性セシウムが検出した原因は、空気中の塵に含まれる放射性物質がフィルタに付着し蓄積した為と考えられます。

以前の調査において、当外気導入フィルタにて放射性物質は大部分が除去されることが確認されており、また外気導入フィルタを通過した放射性物質は、内部循環フィルタ(下図②)にてさらに除去されることが確認されております。(2011年7月調査済み)

また、製品への影響については過去の測定において放射能が検出されなかったことがないため、影響なしと判断します。
 弊社周辺環境における大気中の放射線量は事故直後に一時的に増加しましたが、その後現在に至るまでに新たな増加は無いと考えられるため、クリーンルーム内環境、製品への影響はないと認識しております。



(表1)放射性セシウム検出推移

	2011年 5月	2012年 1月	2012年 7月	2013年 1月	2013年 7月	2014年 1月	2014年 7月	2015年 2月	2015年 8月
Cs-134	250,000	2,100	500	140	83	62	130	54	22
Cs-137	270,000	2,700	740	290	190	170	340	180	91

	2016年 1月	2016年 4月
Cs-134	ND	15
Cs-137	36	79

(Bq/kg)